

令和4年5月23日（月）

「人に頼ること，頼られること」

今週は，皆さんに，「人に頼ること，頼られること」についてお話しします。

私は，大学3年時に学科の科長（正式名称は理科会長）を任されました。その時に，後輩，同級生，先輩の間でいろいろな経験をさせてもらいました。大学祭など大きな行事の運営もしましたが，特に記憶に残っているのが，最初の仕事です。それは，名簿作りでした。7つのホーム（学級のようなもの）から一人ひとりにプロフィールを書いてもらい，コピー，印刷して，科の学生全員及び教授への配布で200部程度印刷・製本しました。

当時，一人で作業したほうが気楽だし，うまくできると思っていた私は，大学の印刷室にこもり作業しました。学科の学生は100人近くおり，かなり時間がかかりました。

完成した冊子を各ホームに届けたときです。ある同級生からこう言われました。「こんな作業は，何人かで分担して進めれば，苦労も少ないから頼ればいいのに・・・」

最初，これを聞いた時は，正直「せっかく頑張って作ったのに・・・」という気持ちでいっぱいでしたが，その後，学科で主催する行事等を運営していくうちに，一人でできることの限界を強く感じ，同級生の言葉の真意がよく分かるようになりました。

人の発達段階として，「1：依存（すべてを他者に頼った状態），2：自立（自分の力で自活していく状態），3：相互依存（自立した状態から他者と協力して課題等を解決していける状態）が望ましい」とある本で読んだことがあります。

中学生の皆さんには，まず，2つめの「自立」することが求められますが，現在の世の中を生き抜くためには，3つめの「相互依存」つまり，どのように「人に頼ること」ができるかが大切になってきます。「人に頼ること」は，実は大変難しいことだと思います。それは自分の自立とともに，相手を思いやることが必要だからです。

人，ものに優しい志布志中を目指すうえで，各自の自立とともに，相手を思いやり，安心して他者に頼り，頼られる関係性をつくってほしいと願います。

※ 5月18日（水）の地区陸上大会に出場した選手の皆さんへ ※

大会参加，これまでの練習お疲れさまでした。
素晴らしい活躍，競技外でも立派な態度でした。